

2025年11月22日 「子どもを信じる」参加者アンケート集計結果

●会場参加者 76名 (メイン会場 51名 サテライト会場 25名)

内訳 : 講師1名 保護者63名 学校関係者5名 支援者3名 世田谷区職員1名 スタッフ3名

●アンケート回答数 WEB回答9件 アンケート用紙48件 合計57件 うち、集計53件

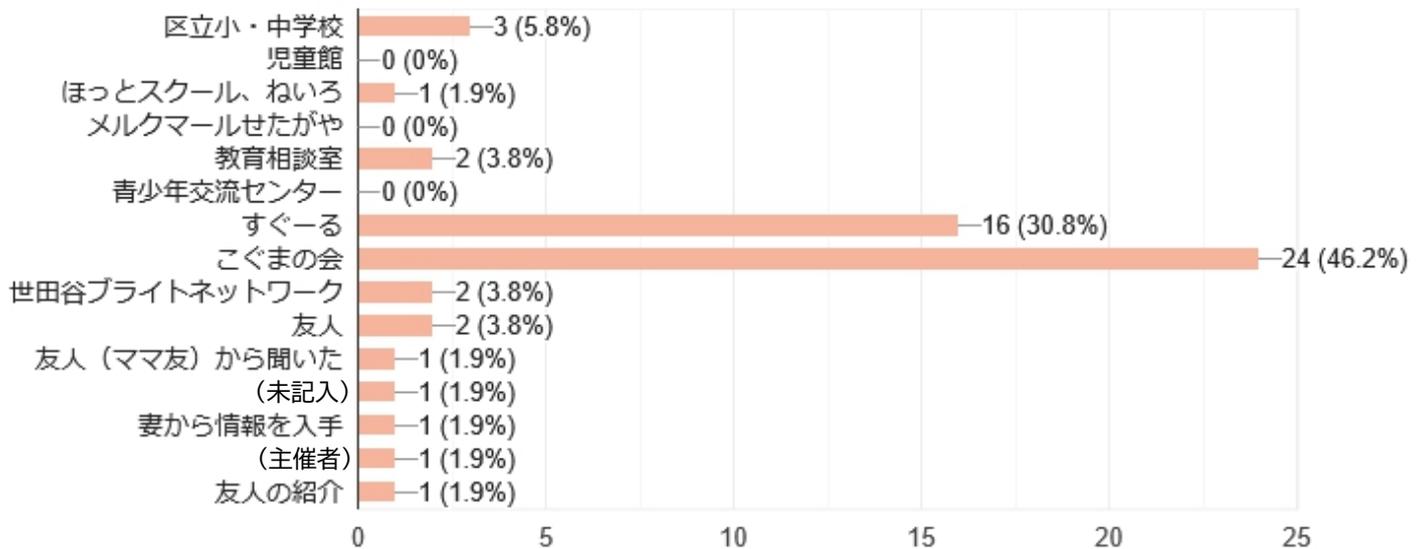
そのうち、○アンケート結果を世田谷区ホームページに掲載するに辺り、回答を反映してもよろしいでしょうか?という問いに対し「解答を反映しない」を選択、または無解答のアンケート解答を除きました。

「選択式のみ反映してよい」を選択したアンケートは、記述部分を除きました。

自由記述欄の回答は、すべて回答者の原文のまま掲載しています。

○本日の講演会を何でお知りになりましたか?

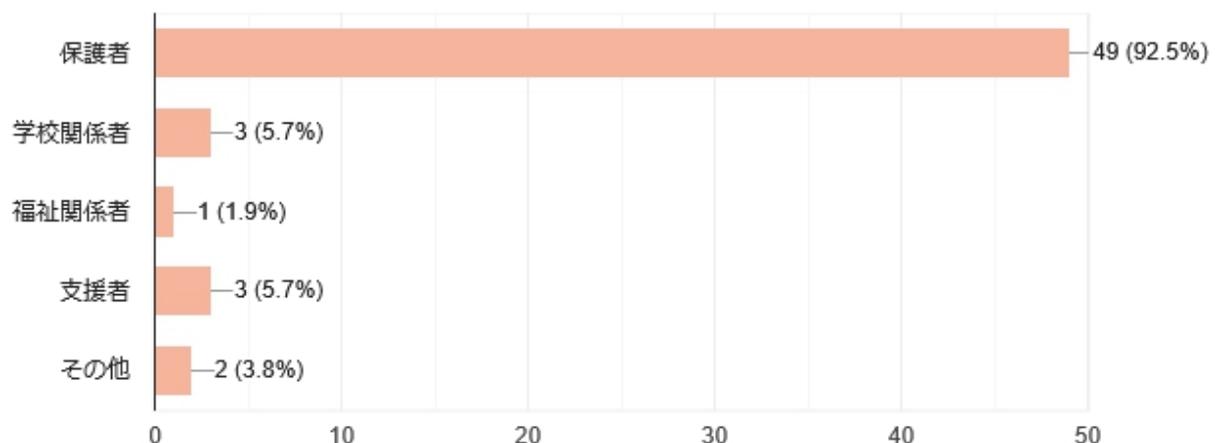
52件の回答



○当日参加されたのはどなたですか?

 クラフをコピー

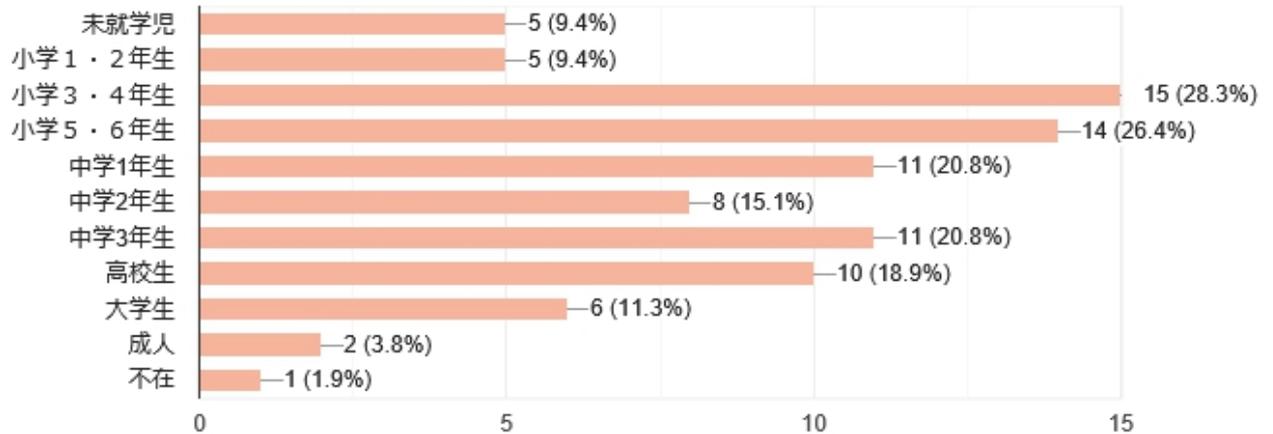
53件の回答



○お子様の年齢

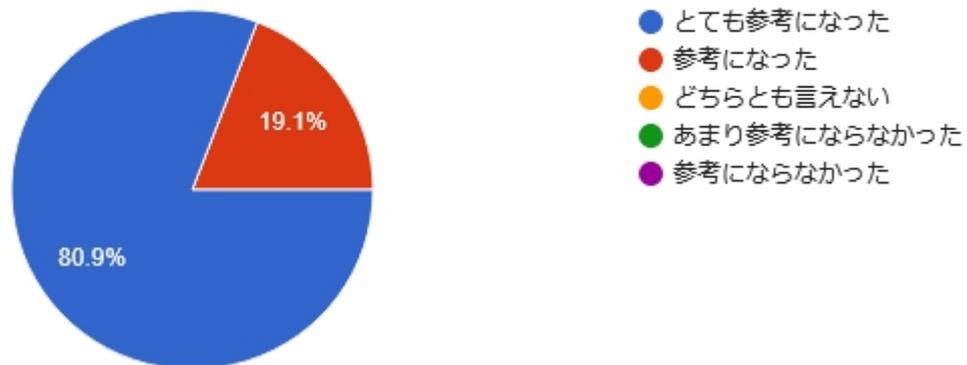
📄 グラフをコピー

53 件の回答



○本日の講演会は、今後に向けて参考になりましたか？

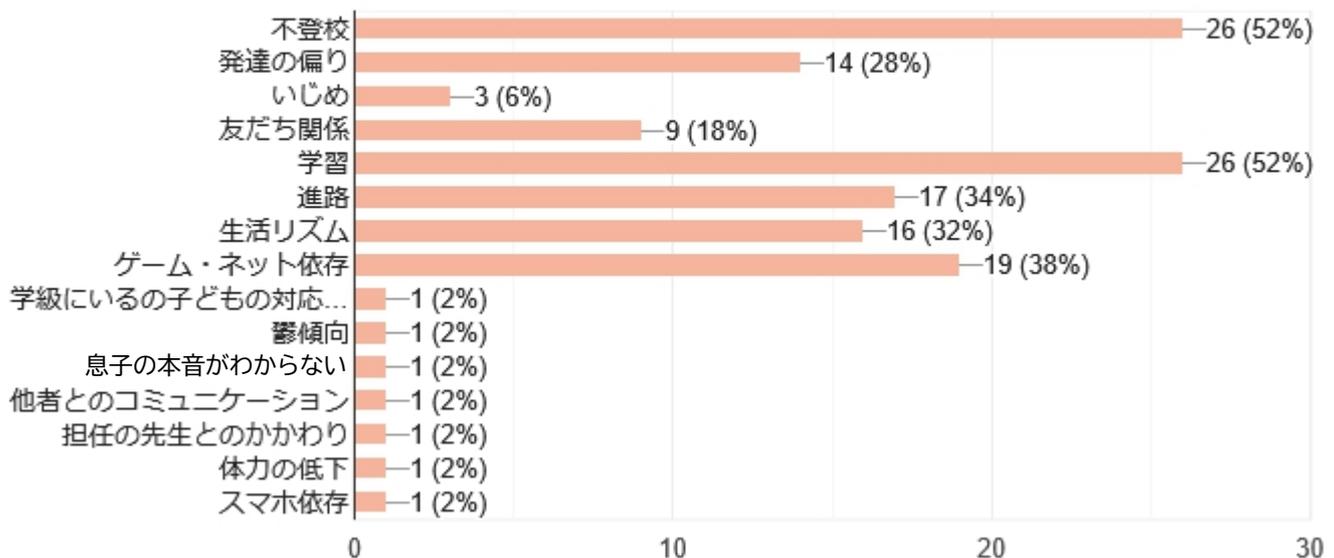
47 件の回答



○今、お子さんのことでどんな悩みがありますか？

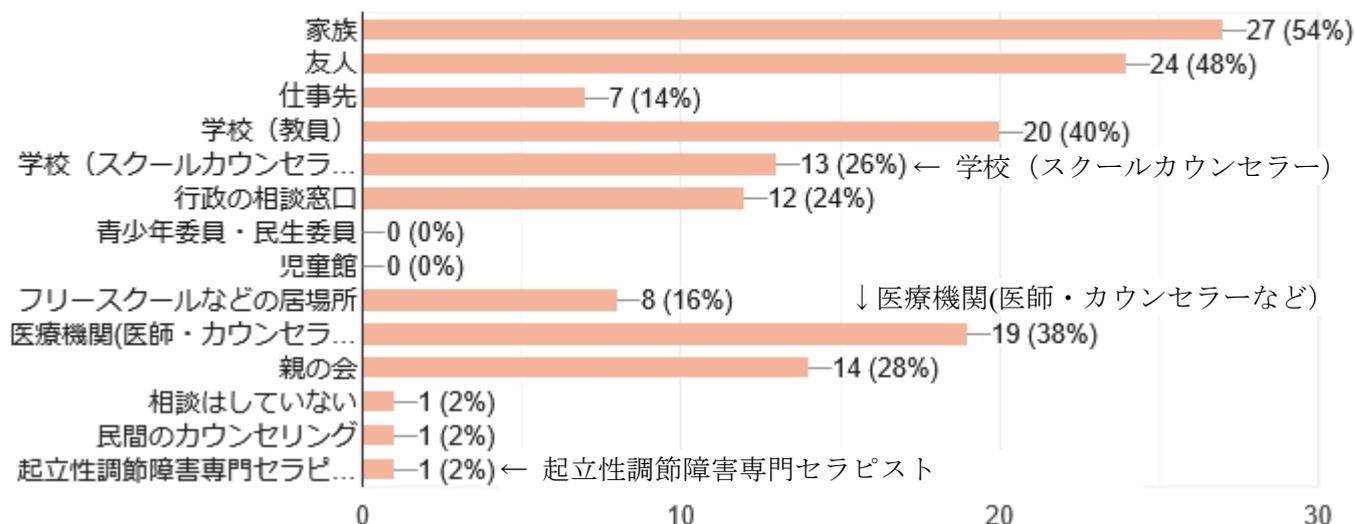
📄 グラフを

50 件の回答



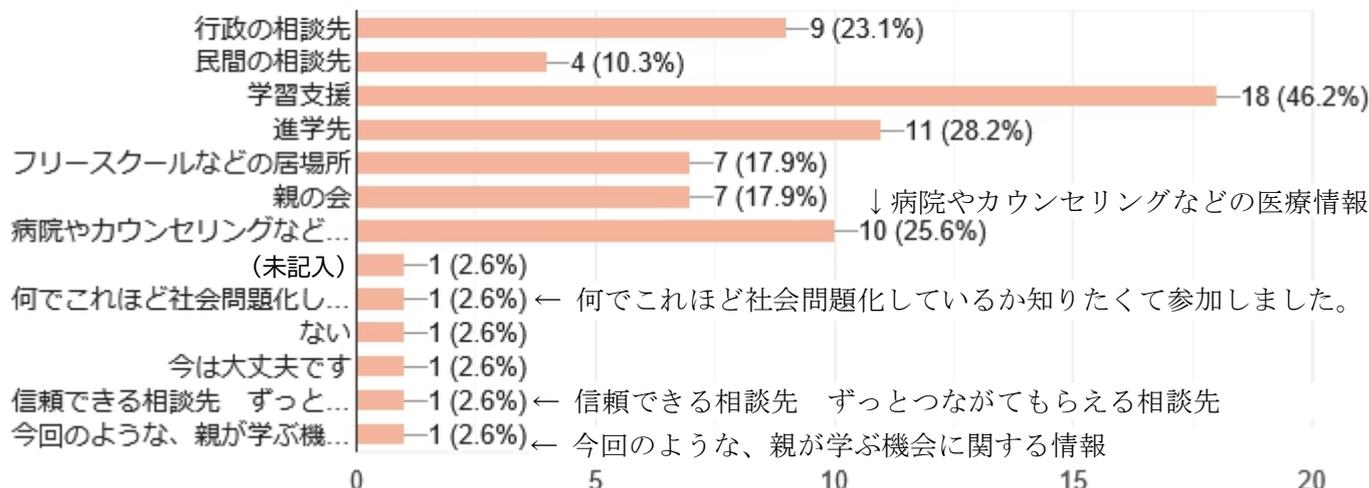
○その悩みはどこかに相談されていますか？

50 件の回答



○今、知りたい情報はありますか？

39 件の回答



○ご感想、ご意見などありましたらご記入ください

38 件の回答

■橋本先生のお話はこれまでの経験に基づく裏づけがあり一言一言が大切にしなければならない言葉で重みがあります。具体的に事例での解答はとても理解しやすく、参考になりました。

子どもは学校を卒業して不登校の状態ではありませんが、就活もせず家にいる状況です。成人してからの関わりについても機会があれば知りたいです。

■区内で教員をしています。落ち着かないお子さんが取る行動に悩まされるときがありますが、「大人の目盛りで子どもを見ない」という橋本先生の言葉がとても響きました。その子なりの

メッセージを受け止め、どんな環境を整えてあげたらよいかを考えていこうと思います。

また、グループトークで不登校のお子さんがいて悩まれている保護者の方のお話を伺い、学校にできることがもっとあると気付かされました。どのお子さんも安心して学校に来て学べる環境を学校は組織的に考え、整えていかなければいけないと感じました。

■橋本先生のお話はいつも説得力があり具体的ですごく参考になります。いつもありがとうございます。

■子どもには「すじ」がある。先生のお子さんのインフルのお話で、その「すじ」の意味がよくわかりました。

私も親の「すじ」を通そうとするからケンカになるのかと思いました。

■橋本先生のお話、一つ一つが心にしみました。

大切な機会を頂きありがとうございました。

■参加させていただきましてありがとうございました。大変丁寧にお話しをしてくださり、励まされました。本当にありがとうございました。

■とても心に刺さる、納得がいくお話を伺えて良かったです。ありがとうございました。

■いま息子は不登校を脱しつつあります。

今まで親としてできることはいろいろやってきましたが、自分の心の安定を保つことの難しさに苦しみました。

先生のお話しにあった「目の前の子供は、今の状態の精一杯である」「行動はメッセージ、SOSである」その心構えがあるだけで世の中の親たちは精神的に楽になるのではと思いました。長い期間不登校が続くと、生活の中でこういった考えは薄れていきがちです。

これからもこういった講演会で、たくさんの保護者の方を救っていただきたいと思います。

追伸

2年前に初めてこぐまの会に参加した時が、ちょうど橋本先生の会でした。

その頃は親子ともいっぱいいっばいで、私が相談したことに先生が真摯に答えてくださり、涙を流したことを思い出します。

そこからこぐまの会に参加させていただいたり、お手伝いをさせていただいています。

その時の先生のお言葉や、保護者の方の支えがなければ今こうしていらなかったと思いますので、この場を借りてお礼申し上げます。

■信じる、待つ、耐える、そして関わり続けるというあたりまえの事をあたりまえに続けることが大切だとあらためて思い知らされました。ありがとうございました。

■「子供のすじ」なるほどと思いました。

親がどういう心持ちで、どう接するのか、本当に迷うので助かります。ありがとうございました。

■ちらしから不登校に特化していると思わず参加された方が多いグループでしたが、子どもを信じるというところは変わらないのでグループで話すことができよかったです。

■子どもは中学・高校の不登校から 現在には大学生になり、だいぶ落ち着いてきたのかな？という所です。（まだ時々落ち込みはありますが…）

とても辛かった時に こぐまの会の存在は知りながらも一歩が踏み出せず 悶々としていました。今、小学校の学校支援コーディネーターと青少年委員という立場から相談を受ける事がり、また、1月に青少年委員の研修でこぐまの会のお話を伺う前に勉強のつもりで参加させていただきました。

橋本先生のお話で肚落ちすることが多く、来てみて良かったです。今後また学ばせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

■本日は貴重な機会をありがとうございました。

最後のお話しにあった

子供の未来を見ていると必ず失敗してしまう。

今出来ることの積み重ね というお言葉が印象的でした。

私はすぐ子供に将来の話しをしてしまうので。

不安は沢山ありますが、子供も不安、お互い成長している（不安があるからこそ）というお話しで 前向きになれました。

ありがとうございました。

☆質問コーナーすごく良かったです！

■先生のお話を聞いて、今の状況を受け入れられるように、ゆっくり頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

■4F(サテライト会場)で参加させていただきました。前半が終わってから、後半に橋本先生が4Fにおりてきて質疑応答に答えくださった話がとても参考になりました。

具体的なケースを聞いたことが良かったです。

質問して下さった方にも 橋本先生にも感謝です。

ありがとうございました。

■今日とはとても勉強になる話しになりました。全ての話が子供のアドバイスに聞こえたのでとても充実した時間になりました。ありがとうございました。

■子どものスジ よく理解できました。ありがとうございました。

自分を信じる = 子どもを信じる 了解できました。

■ゲームに依存している小5の息子がいます。

少し前まで、やめさせたいという思いを強く持っていましたが、本等で逃げ場になっているので無理に取り上げるなど書かれており、「それ本当課？」という気持ちを持ちながらも取り上げないようにしていました。

今日、話を聞いて取り上げなくて本当に良かったと思いました。

また、「諦める」ことも大切かと思いました。

■ 今日子どもへの思いと自分の気持ちの折り合いで色々と思いを悩む日々でしたので

橋本先生のお話をきくことで、気もちの整理ができました。

本日は偶然にもグループの中に教員（管理職）の先生もいらっしや、学校によって不登校児童への対応の差が非常に大きいことを痛感しました。

これから親として何ができるのか？先生のおっしゃる所のバランスを持って不登校の子どもがより良い環境の中で過ごせるように考えていけたらと思いました。

■ 橋本先生のお話の中で印象に残ったこと、また自分と子どもたちの関わり方や、子どもを見て理解する、今できることをできるように 私自身改めていきたいと思います。ありがとうございました。

■ 定期的に今回のような講演会を希望します。

本日の橋本先生のお話は専門家の一般論ではなく、先生のこれまでに何百人という子供たちとの関わりからの実のあるお話でよく理解できました。

■ 橋本先生のお話を聞いて、今後の子供との関わりについてとても参考になりました。

大事な事（親として子供との接し方）もたくさん教えて頂きました。

グループトークでも色々な方のお話が聞いて役に立ちました。

また、お話を聞く機会がありましたら参加させて頂きたいです。

いつも、こぐまの会の方には色々な情報を提供して頂き 感謝します。 ありがとうございます。

■ とてもためになるお話をありがとうございました。周りからすれば、甘え、もっとどうにかなる。と誤解されがちで、不登校の親は孤独になる事も多いです。

不登校でない方にこそ、今回の講演を聴いていただき、知って欲しいと思いました。

■ すごく貴重なご講演でした。本当にありがとうございました。

■ 不登校ではありませんがたまに行き渋りがあります。

リフレッシュだと思って休ませています。

気がかりなのは、勉強がとにかく嫌いで、宿題もままならないことです。

毎日宿題をさせるのが本当に大変です。

宿題をしないことを信じて待っていても良いのでしょうか？

小4 男子で、漢字や計算など基本的な勉強内容です。

やらないとついていかれずわからなくなり、本人が困るのではないかと心配です。

■ （回答者 子ども）

（ぜんはん）

「子」をしんじるかだから、子をたすけようという思いがたつたわってきました。

（たくさんある）

はじめて知ったこと

- ①親が心ばいするのが"あ"たりまえ
- ②親にとっては「むいみ」に感じているすきなことがある！
- ③じぶんは、むいしきにメッセージをおくっていた
- ④親がかんきょうをととのえなければいけない
- ⑤なんでもじぶんできめるのがせいちょう
- ⑥いつも親はきをつけている
- ⑦おか はゆずることしかできない？

⑧おか はせいっぱい"い"

⑨"う"んだらかくごをする。（親）

⑩親は、こどもに、むきあ"え"る

⑪"お"か は、たいへん

⑫おとなは、よくわからい大きななやみがある

（ぜんはんの）「まとめ」

おかは、あ・い・う・え・お を「大切」にしている

ー

グループトーク

①たのしみ

①むずかしいことばたくさんあった

（こうはん）

①大人はくるしい

②どうどうしなればいけない

③いけんがちがっても子は、することをかえない

④子にとってわるいえいきょうはない

⑤子がまなぶことは大切

⑥どちらかにピタッとくつつくかもしれない

⑦ 1 つにちょうせいしなければいけない"わ"けではないのでは？

⑧きけんことがおいからたくさんべんきょう"を"したいけどできない子がいる

⑨いきたくてもいけなけれど親はぜったいにあきらめずにやることをやる

⑩おか は「うらぎられた」と思っていることが本心だと（きっと）
わたしのかいしゃく「う"ん"」
（こうはん）「まとめ」
やはり わ・を・ん は「大切」
■橋本先生のお話はとてもわかりやすく、新たな考え方も教えてもらえます。以前、世田谷区の不登校のつどいでもお話をしてくださっていた時があり、それもとても参考になりました。是非、行政でも定期的に橋本先生の相談会をやっていただきたいです。
よろしく願いいたします。
■「子どもには子どものすじがある」というのは心に刺さりました。思春期に突入した子どもに親のすじを押しつけず、対等な立場で接していきたいと思いました。
是非また講演会していただければ嬉しいです。
■4階の方にまで橋本先生が来てくださり、ありがたかったです。参加させていただいて本当によかったです。
■見守ることをがんばろうと思いました。と言いつつ進路というか単位が心配です
環境の整備は親の責任であるなと 思いました。
なかなか日中、昼食など世話をしながら本人がいる部屋を片付けることはむずかしく、でも早く本人も気に入る部屋にしたいです。
夫との認識のずれなどが今の心配です。
みなさんの質問が、本当に自分もこまっていることで、みんな同じなんだというような不思議な安心感みたいなものを感じ、自

ご協力ありがとうございました！

分だけがこの件について悩んでいるわけではないのだと思えました。来てよかったと思いました。自分がやっていたこともけっこう合っていることもあり自信になりました。

■とても良いお話を聞けました。ありがとうございました。

■本日は貴重なお話をありがとうございました。

子供の行動が今できる事のせいっぱいのメッセージ、思いが先で行動まで時差があるし、思いは本物親の関わりがマイナスになる事もある。自分が辛い時は離れるおっしゃる全てがとても心に響きました。

子供の筋を理解し、受け止める事を第一にしたいと思います。

■橋本先生のお話、言葉の一つ一つが核心をついていて、心に響きました。

不登校の時間が長くなると、諦めること、信じることを維持することやバランスがわからなくなってしまうことがしばしばあるので、

（諦めすぎると子どもが嫌になったり暗い未来しか思い描けなくなってしまったりしたので）

「今は」諦める こと、

思ったことは言っている。その結果をみてメッセージを受けとり 行動修正することが大事というお話

特に気をつけていきたいと思いました。

ありがとうございました。

■橋本先生のお話がとても参考になりました。

日々、自分の言動に反省しながら、子供の事を信じていきたいと思えます。

以上